

# 『ヒカルの碁』寄贈プロジェクト 寄贈先団体とのオンライン対談イベントを 5 月 19 日(金)/26 日(金)に開催

囲碁普及団体 indiGO（インディゴ／愛知県名古屋市／理事長：山城 宏）は『ヒカルの碁』のコミックス全巻、囲碁の入門書、碁盤と碁石のセットを、小学校や子供たちが集まる施設に寄贈する「ヒカ碁寄贈プロジェクト」を実施しています。

小学生に囲碁に興味を持ってもらうとともに、囲碁を始めやすい環境を用意することを目的として 2023 年 3 月に始まったこのプロジェクトは有志からの寄付によって支えられており、開始から 2 か月で 13 拠点に寄贈を完了しました。

このたび、寄贈先のうち JimoKids（東京都北区）と STORIA（宮城県仙台市）の代表をゲストとしてお迎えし、indiGO 理事長の山城宏と対談するオンラインイベントを 2 週連続で実施します。

寄贈後の子供たちの様子や、寄贈先団体の取り組みに囲碁を活用できる可能性など、様々な角度から語り合います。



JimoKids  
畑川 麻紀子 氏  
JimoKids代表



indiGO  
山城 宏 氏  
プロ棋士 九段  
indiGO理事長

オンライン対談

## JimoKids×indiGO

これからのコミュニティの形

2023.05.19[FRI]  
20:00-21:30  
Online



zoom online・参加費無料  
山城宏九段と STORIA 代表 佐々木が語る  
**碁 × STORIA** ～非認知能力を育む～  
サードプレイスでは、囲碁普及団体 indiGO 様のご厚意を受け、漫画『ヒカルの碁』全巻と碁盤ボードセットのご提供を受けました。  
今回頂きましたご縁への感謝とともに、囲碁普及団体 indiGO の理事長である山城宏先生と認定 NPO 法人 STORIA の代表佐々木が対談をさせていただきます。  
子どもへの碁の普及、教育活動に力を入れている山城先生、そしてサードプレイスでの体験学習プログラムで子どもの非認知能力を育む佐々木がその思いを語り合います。

囲碁普及団体 indiGO 理事長 山城宏 九段  
認定 NPO 法人 STORIA 代表理事 佐々木綾子

Presented by 認定 NPO 法人 STORIA

## オンライン対談について

2023 年 3 月のプロジェクト開始以降、13 拠点に寄贈を完了しています。

寄贈した身としては、やはり寄贈先でコミックスを読んでもらえているのか、囲碁に興味を持ってくれる子がいるのかといった点が気になります。また、寄贈して終わりにするのではなく、寄贈をきっかけにもっと寄贈先のことを知りたい。そして囲碁のことを知ってほしい。そう考えて、代表同士の対談を用意するとともに、参加者同士で交流できるイベントを企画しました。

対談に応じていただいた団体は、どちらも代表が indiGO メンバーの知己です。一人と一人の縁が、囲碁をきっかけに複数と複数の縁に成長していく。そんな広がりをおこのイベントでは作っていきたいと考えています。



### <お問い合わせ先>

団体およびヒカ碁寄贈プロジェクトについて : 喜多 (TEL : 090-1780-1689)

オンラインイベントについて : 友齊 (TEL : 090-7437-5377)

MAIL : igoindigoigo@gmail.com

## JimoKids - 世代を超えた交流、これからのコミュニティの形

5月19日（金）の対談相手は、JimoKids 代表の 畑川麻紀子 氏です。

東京都北区にある築 60 年の蔵を改装し、大人と子供のサードプレイス「石蔵秘密基地」を運営しています。外国語や科学に触れたり、クリエイティブな体験をしたりできる企画を毎日開催し、子供たちの「やってみたい」を引き出すことを目指しています。

また、コワーキングスペースが併設されており、出入りする大人たちと子供たちとの世代を越えた交流も生まれています。

対談ではこうした「交流」「コミュニティの形」といったテーマで囲碁との関わりを探っていきます。



## STORIA - 非認知能力を育む

5月26日（金）の対談相手は、STORIA 代表の 佐々木綾子 氏です。

STORIA は宮城県仙台市で困難な状況にあるご家庭を経済的・精神的に支援している NPO 法人で、放課後の子供たちが過ごすサードプレイスや移動図書館を運営する他、自治体から委託を受けてひとり親家庭を支援する事業も行っています。

STORIA では非認知能力（学力テスト等では測れない、物事に意欲的に取り組む、新しい発想をする、他者とコミュニケーションを取るといった能力）を重視しています。非認知能力を育むためには「愛情」と「多様な価値観と体験」が重要とされていますが、囲碁も同様に非認知能力を高める効果があると言われています。

対談では「非認知能力」を切り口に、STORIA の取り組みと囲碁の共通点を語ります。

## indoGO - 碁縁（ごえん）を繋ぐ架け橋

indiGO は囲碁を盛んにしたいという有志の集まりです。プロ棋士とアマチュア囲碁愛好家で構成されており、これまでに「プロ棋士とアマチュアの交流」を重視したイベントを開催してきました。

今回の「ヒカ碁寄贈プロジェクト」では、現在囲碁を知らない／興味がない子供たちに囲碁に触れるきっかけを提供することを目的としています。

理事長の山城宏はプロ棋士として試合で活躍する傍ら、日本棋院の副理事長やナショナルチームの監督を歴任。後進の育成やアマチュアへの普及活動などにも力を入れています。



### 【団体概要】

社名：indiGO（インディゴ）

理事長：山城宏（プロ棋士・九段）

ウェブサイト：<https://www.indigo2020.net/>

メール：[igoindigoigo@gmail.com](mailto:igoindigoigo@gmail.com)

お問い合わせ窓口

団体およびヒカ碁寄贈プロジェクト：喜多（TEL：090-1780-1689）

オンラインイベントについて：友齊（TEL：090-7437-5377）

<お問い合わせ先>

団体およびヒカ碁寄贈プロジェクトについて：喜多（TEL：090-1780-1689）

オンラインイベントについて：友齊（TEL：090-7437-5377）

MAIL：[igoindigoigo@gmail.com](mailto:igoindigoigo@gmail.com)